

北海道拓殖鉄道 学習レポート

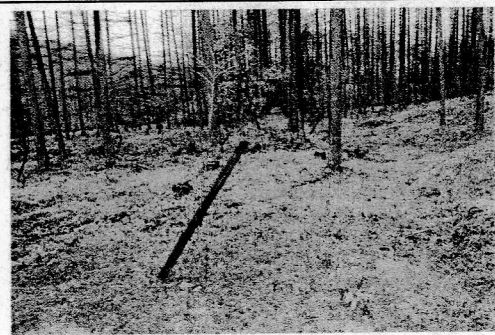
拓殖鉄道の歴史

皆さんは、昔北海道拓殖鉄道が通っていたことを知っているだろうか？この北海道拓殖鉄道は1928(昭和3)年、新得―鹿追の間が開通し1968(昭和43)年10月に全線廃止となった。

拓殖鉄道は名の通り開拓を目的として十勝平野北部に地元の有力な力によって作られた路線である。拓殖鉄道跡地が今も残っている理由は、故郷鹿追の限りない発展の礎としての拓殖鉄道の歴史をここに住む人々は永く忘れることはないことを願って作った。

拓殖鉄道は清水にある製糖工場と木工所に全て手作業でビート、木材などを運んでいた。

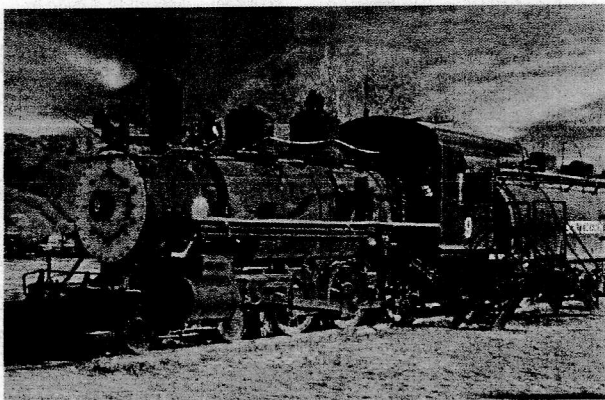
今は酪農や農業が盛んで、平野部のほとんどは農地となって消え去っている。今は跡地しか残っていない。



柏が丘の鉄道跡

感想

拓殖鉄道のことを調べたりして、瓜幕には3つの駅があったことを初めて知った。昔は車がなかったのでこの拓殖鉄道はすごく便利だったと思う。昔は、家の近くを通っていたので、私の家の人もこの拓鉄を利用していたのかなと思った。



あとがき

今回パソコンで学習レポートを作って、文字を打つのが一番大変だった。拓殖鉄道について考えたことがなかったのでいろいろなことが知れてよかったと思う。これからも拓殖鉄道に目を向けていきたい。

